



新 牛久ごみ ニュース

見えないところでのリサイクル

「リサイクルは資源物だけじゃない」

これまでのごみニュースでは、資源物として回収し、リサイクルしているものをご紹介してきました。しかし、当市で行っているリサイクルは資源物だけではありません。皆さんの見えないところでも再資源化の取り組みは行われているのです。

☆見えないところでのリサイクルとは？

牛久クリーンセンターでは、回収した資源物以外にも再資源化しているものがいくつもありま

す。例えば、「燃えないごみや粗大ごみから鉄やアルミの回収」、「焼却熱を牛久クリーンセンターで利用」、「焼却した燃え殻からの鉄回収」、「焼却灰の路盤材(例えば建設資材など)への利用」などです。これらは、皆さんの出されたごみをごみとして処理するだけでなく、少しでも多くの資源を抽出するよう取り組まれているものです。特に燃え殻や焼却灰は、通常、最終処分場に埋



め立てすることになりますので、これらを再資源化することは最終処分場を持つていない当市が埋め立て量削減を考慮する上で、非常に重要なことです。

☆これだけやればもう安心？

資源物だけでなく、ごみからも再資源化しているのであれば、ごみ問題は解決されるのでしょうか？ 今後も新しい技術が開発され、今よりもさらに環境に影響を与えない設備が高額な費用をかけることで導入されるかもしれません。しかし、どんなに技術が進んでも、それを上回るごみが排出されていけば、環境に与える影響は減りません。そして実際に私たちが排出しているごみは、年々増加しているのです。

私たちが今やらなければならな

いことは、ごみを出さないようにすること。ごみが出なければ処理する必要もなく、新しい処理設備もいりません。そして、その次にリサイクルのための分別を今以上にしっかりとすること。設備が十分な能力を発揮するためには、きちんと分別されていることが絶対必要だからです。



リサイクルの取り組みは皆さんの適正な分別で成り立っています。次回、市による資源物の集積所回収ではなく、皆さんがリサイクルの中心となっている「集団回収」の取り組みについてご紹介します。

できることから始めよう！

昨年10月1日から、県下一斉にマイバッグ運動が始まり、牛久市も参加しています。12月26日には、市職員だけでなく、牛久市消費者連絡会にもご協力いただき、市内のスーパー2カ所でマイバッグキャンペーンを行いました。買い物に来ている多くの方に協力いただき、ありがとうございました。(右写真)



マイバッグ運動とは、自分でバッグを持参してお店からもらえるレジ袋を削減するための行動をいいます。地球温暖化防止やごみ減量のため、ぜひ皆さんもお気に入りのマイバッグで買い物に行きましょう。